

1 学年 通信

第22号

6/20./21 期末テストに向けて1日2時間(休日3時間)
ムリなくムダなく学習を進めて下さい

5月24日(金)、帰りの学級活動の時間に「Challenge(チャレンジ)60時間学習計画と記録表」を生徒に配付しました。各教室では、「今日から1日2時間ずつ続けていけば、テスト前までに合計56時間もの学習が積み重ねられる。」という話を生徒に伝えました。このおよそ60時間以上という努力の数字は、たった数日間の学習ではどうにもならない、とてつもない努力の大きさです。こうして積み上げた努力が、“学習への自信”につながるはずだと思います。

各教室では、期末テストに向けて自分なりの目標を立て、60時間達成をめざして学習を進めていくということになりました。

これまでの2ヶ月間の授業や家庭学習を振り返ってみると、

- ① 授業は一応聞くけど、家ではほとんど何もしていない。
- ② 宿題は、提出日切日の朝になって猛ダッシュ!! (または未提出のまま)
- ③ 自主勉強はめんどろなものでやなくていいや。

いわゆる“授業の復習を一切やらない。”このようなパターンは考えられませんか。このやり方では、勉強への不安やわからないことが毎日積み上がっていく一方です。期末テストというと、できれば避けて通り過ぎたい、終わった後に嫌な思いをしたり自信をなくす人のほとんどがこのタイプです。

ただし、出題されるのは、授業や実験・観察で習ったこと、配付されたワークブックや基本問題集からのものがほとんどです。まずできることは・・・

① 授業ノート(板書等)、プリントの見直し

② 学校から配付されたワークブックや基本問題集のくり返し(やり直し)。

- ・「新国語の学習1」
- ・「数学 基礎からの問題集」
- ・「理科ノート1年 基礎徹底理科1年」
- ・「社会の自主学習(地理)」
- ・「JOYFUL WORK BOOK(ジョイフルワーク)1」(*後日配付)

さすがに、授業で1度やったきりで頭の中に入れて入る人はいません。同じワークブックや基本問題集をできるまで2度、3度くり返し見直したり、解いてみることです。

成功する秘訣は、できるまで2度、3度くり返すこと。

こうして自信が膨らんでくれば余裕も少しずつ生まれてくるはずですよ。自分にあった問題集にさらに進むのもよいでしょう。学習は、テスト直前で慌ててやったり、一度に何時間もやろうとすると長続きしません。

学習は、テストがなくても毎日ムリなくムダなく進めて下さい。

★「自主勉強」と「Challenge60時間学習計画と記録表」は、毎日担任の先生まで提出して下さい。



3組



1組

理科『実験1 光合成で二酸化炭素が使われることを確かめよう。』に取り組む生徒たちの授業風景。石灰水を2本の試験管に入れて振って、白く濁るのかどうか確かめています。

